２０１９年4月２３日

報道関係者　各位

大阪医科大学

現場に生かす、最先端の医療を学ぶ
２０２０年４月、大阪医科大学は「医学研究科医科学専攻修士課程」を開設します

大阪医科大学（大阪府高槻市、学長：大槻勝紀）は、多分野連携の進む知識基盤社会や少子・高齢化の進む地域社会、グローバル化社会を支える学識、人間性、研究能力を備えた保健医療従事者、教育研究者、企業人の養成を目指し、2020 年 4 月に大学院医学研究科医科学専攻修士課程（仮称）の設置を予定しています。2019 年 3 月 19 日、文部科学省に設置認可を申請しました。

「医療科学コース」と「社会健康医療学コース」の２コースで構成し、「医学・医療の知識・研究法の現場での活用力」と「多様なキャリアパスを切り拓く能力」を修得する機会を提供します。

【本件のポイント】
●附属病院や研究施設を活用した、診断・治療・研究の現場を実体験できる演習中心のカリキュラム。
●実地の医療・保健福祉・行政におけるデータを分析し・問題を解決できる能力を涵養するカリキュラム。
●関西の私立医科大学・医学部で、初の医学研究科修士課程を設置。
●最前線で活躍している 100 名を超える専任教員を配置し、専門的かつ横断的に教授できる体制を構築。

【大学院医学研究科医科学専攻修士課程の概要】　※　別紙　【資料】　あり

開設時期：2020 年４月（予定）
募集開始時期：2019 年 9 月以降（予定）
入学定員：４名
設置コース：医療科学コース、社会健康医療学コース
授与学位：修士（医科学）

【目的】

医療・産業・社会構造が急速に変化する現代では、研究開発や医療福祉の現場における問題解決力を備えた人材の養成が喫緊の課題です。社会の様々な分野で活躍する、あるいは活躍を目指す者に、最新かつ現場に根差した医学・医療・福祉に関連する知識と研究法を修得する機会を提供します。

【意義】

大阪医科大学では開学以来、高槻市を中心とする地域の医療・福祉を支え、研究においては特に医工連携分野において優れた実績を挙げてきました。こうした人材養成と実学研究重視の実績を踏まえ、修士課程の設置によって、より広範な対象者に対して、多様なキャリアパスに対応した教育を展開することが可能となります。

※記載されている内容は予定であり、変更の可能性があります。

＜問い合わせ先＞
大阪医科大学 学務部大学院課　小林・田中
代　表：072-683-1221　（内線　3033）
MAIL：omc-gs@osaka-med.ac.jp

【資料】

大学院 医学研究科 医科学専攻修士課程
修了者のキャリア形成モデル

修了後の進路（例）

医療機器・素材関連企業　元の職場でのキャリアアップ　保健医療機関　行政機関　ヘルスサービス関連企業
大学院工学研究科博士課程　大学院医学研究科博士課程　大学院看護学研究科博士課程

研究開発・医療福祉の現場における問題解決力の涵養

医療科学コース

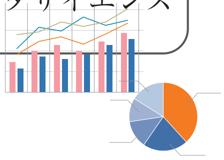
附属病院・実験施設を活用した演習主体

検査診断学　治療学　医科実験

社会健康医療学コース

実地に根差した多様な科目

災害・危機管理　病院管理　在宅医療・福祉
公衆衛生学・疫学　社会行動科学　医療データサイエンス



対象者（例）

- 工学部など理系学部出身者（機器・素材など）
- 地域行政の担当者 保健医療、社会の安心・安全
- 看護学部など医療系学部出身者
- 医療機関勤務のメディカルスタッフ
- 現場の従事者 地域医療、保健、福祉